**環境経済･政策学会20周年記念シンポジウム　「東アジアの持続可能な低炭素経済に向けて：エネルギーシステム，エネルギー税制，政策協調のあり方」**

# 1．シンポジウム開催日時および場所

2015年9月17日(木)　13:00～18:00

名古屋大学大学院国際開発研究科(8階多目的オーディトリアム)

# 2．シンポジウムプログラム

司会：藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

〇開会の言葉およびシンポジウムの概説(13:00～13:20)

李　秀澈(名城大学経済学部)

「東アジアの持続可能な未来に向けたエネルギーシステムとエネルギー税制改革」

## 第1部　東アジアにおける持続可能なエネルギーシステムと電源選択

〇講演1(13:20～13:45)

小川祐貴(京都大学大学院地球環境学舎)・李　秀澈(名城大学経済学部)

「東アジアの電源選択と環境・経済効果：E3ME-Asia計量経済モデルを用いた分析」

〇講演2 (13:45～14:10)

松本健一(滋賀県立大学環境科学部)

「気候変動政策下でのエネルギー安全保障：CGEモデルを用いた分析」

## 第2部　東アジアの持続可能な低炭素経済に向けたエネルギー税制改革

○講演3 (14:10～14:35)

朴　勝俊(関西学院大学総合政策学部)

「東アジアのエネルギー税制改革の環境・経済効果：E3ME-Asiaモデルを用いた分析」

○講演4 (14:35～15:00)

李　態妍(龍谷大学経済学部)

「エネルギー税制改革と人的資本の形成」

休憩　15:00～15:20

## 第3部　エネルギー税制改革と国際競争力措置

○講演5 (15:20~15:55)

ヘクター・ポリット(ケンブリッジ・エコノメトリクス)

「エネルギー税の競争力効果とカーボンリーケージ：E3ME-Asiaモデルを用いた分析」

○講演6 (15:55~16:20)

伴ひかり(神戸学院大学経済学部)・藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

「東アジアにおける自由貿易の環境・経済影響」

## 第4部　総合討論および質疑応答(16:30～18:00)：日本・中国・韓国・台湾の役割

司会：藤川清史(名古屋大学)

パネリスト：高村ゆかり（名古屋大学），芦名秀一（国立環境研究所），劉憲兵（IGES），

ジャン-フランソワ メルキュール(4CMR)，羅星仁（広島修道大学），陳禮俊（山口大学）

## 【連絡先】

名城大学経済学部　李秀澈　slee@meijo-u.ac.jp

名古屋大学国際開発研究科　藤川清史　fujikawa@gsid.nagoya-u.ac.jp

○名古屋大学へのアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)に乗車し，本山駅で乗り換え．

本山駅から地下鉄名城線(右回り)に乗車し，名古屋大学駅で下車．1番出口へ．



○国際開発研究科へのアクセス

地下鉄名城線名古屋大学で下車し，1番出口に向かう

下記地図のルート1(南玄関ルート)かルート2(北玄関ルート)に沿って進む．

(はじめて来られた方には，ルート1の方がわかりやすい．)

シンポジウム会場は，国際開発研究科棟の8階のオーディトリアム

**地下鉄名城線本山駅方面**



**ルート2**

**北玄関**

**国際開発研究科**

**(シンポ会場)**

**南玄関**

**ルート1**

**地下鉄名城線八事駅方面**

主催：東アジア環境政策研究会，環境経済・政策学会

共催：名古屋大学国際開発研究科，名城大学経済学部

